

1 期日 平成26年2月21日

2 意見内容

(1) 学校関係者評価委員会の内容について

- ◎老人会、区長会等、学校関係者の方の参加が充実しており、コミュニティースクールを意識した会の持ち方となっている（小学校教頭）。
- ◎プレゼンテーション、DVDまで用意しており、学校運営の在り方がよく伝わった（小学校教頭、サイエンスサポーター）。
- ◎多くの方々の協力があったの学校運営だと改めて感心した（学校評議員）。
- ◎説明が非常にわかりやすかった（学校評議員）。
- △協議の時間をもう少しとれたら良かった（放課後子ども教室代表）。
- ◎稲田小学校の歴史、伝統を継承されていると感じた（民生児童委員）。
- △評価委員会を定期的を開くと、もっと意見をすぐに学校経営に生かすことができるのではないか（民生児童委員）。
- ◎初めて参加し、学校関係のことが分かり、こちらが勉強になった。地域ももっと協力していきたい（校区長）。
- △保護者、児童のアンケートがあって、実態がよく分かった。教師の自己評価もグラフ化されていたり、地域の方の感想もどんなものがあるのか参考程度にあたりするともっと良かった（中学校教頭）。
- ◎昨年度までと違って、地域の方と意見交換する会の持ち方で、とてもよかった（学校評議員・保護者代表）。

(2) 学校経営について

- ◎学校長をリーダーとして、一人一人の先生方が、児童のきめ細やかなみとりに基づいて、課題意識、危機意識を持ちながら、丁寧な教育実践が積み重ねられている様子がうかがえた（小学校教頭）。
- ◎サイエンスサポーター、放課後子ども教室など、他校にない地域の方々の協力を得て、教育活動が推進されている（小学校教頭）。
- ◎理科教育を中心とした学校運営がなされているが、特別支援学校との交流や体験学習など他方面でもすばらしい成果が上がっている（民生児童委員）。
- ◎多くの課題、問題等あるかと思うが、しっかりと整理し、次につなげようとする姿勢がとても良い。今後も続けていってほしい（学校評議員）。
- △今もしっかりと取り組まれているが、さらに、学校教育のレベルアップを図るためには、保護者や地域の力をいかに組織的に取り込んでいくかが大事である（サイエンスサポーター）。
- ◎学校経営が立派になされ、安心した。児童、教師のメリハリのついた経営をこれからも続けていってほしい（放課後子ども教室代表）。
- ◎菊池支援学校との交流は、心温まる思いがする（中学校教頭）。
- ◎きめこまやかな指導がなされていると感じた。先生方が、子ども一人一人の学力向上に取り組まれ、外部からも先生方がおいでになって、担任の先生方と一緒に指導されているので、子どもたちは恵まれていると感じた（学校評議員）。
- ◎地域の方にこんなに協力していただき、子どもたちは恵まれている。稲田校区のすばらしさを感じた（保護者）。

(3) その他

- ◎給食は、薄味でおいしくいただいた（学校評議員）。
- ◎学習発表会は、学校や地域で学習したことを、一人一人が自信を持って発表し、感動した。態度もすばらしかった（学校評議員）。